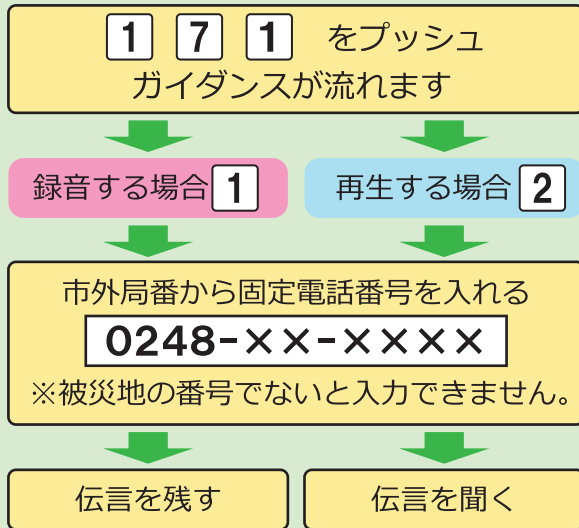


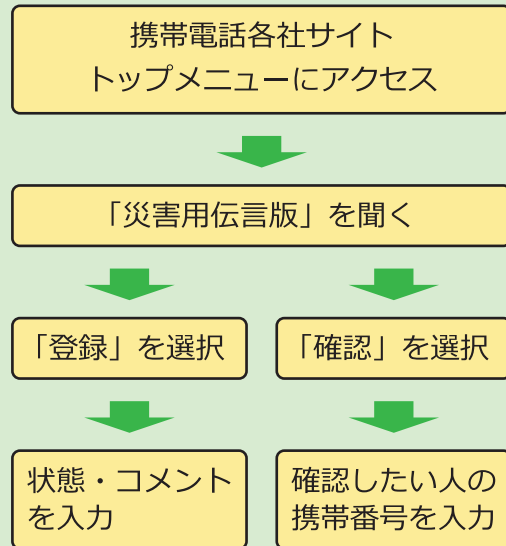
家族との連絡方法を確認する

電話会社が災害時に提供するサービスを有効利用しましょう

■ 災害用伝言ダイヤル「171」



■ 携帯電話の災害用伝言版



■ 災害用伝言版（web 171）

NTTが震度6弱以上の地震発生時などに提供する。被災地の人インターネットを経由して伝言サイトにアクセスし、自宅の電話番号（携帯電話番号も可）をキーにして安否情報を文字で登録、インターネットに接続可能な端末（パソコン、スマートフォン、携帯電話）から確認することができる。

アクセス先

<https://www.web171.jp/>



QRコードの読み取りに対応したスマートフォンや携帯電話をお使いの方は、左のQRコードを読み取ることで、簡単にアクセスができます。

～ その他、利用が期待できる連絡方法 ～

■ 公衆電話

災害時、公衆電話は一般回線よりも優先的に回線が確保され、被災地では無料で利用できる。近年公衆電話の数が減っているため、普段から設置場所を把握しておく必要がある。

■ ソーシャル・ネットワーキング・サービス

東日本大震災では、mixi（ミクシィ）やFacebook（フェイスブック）などのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）や、Twitter（ツイッター）などのミニブログサービスが安否確認に活用された。こうしたサービスを家族や友人とともに普段から使い慣れておくと、いざというときに役に立つ